

第27回「民謡のつどい」結果

狭山市民謡協会主催による第27回「民謡のつどい」が8月27日(日)狭山市民会館にて行われ、コンクールの部で次の方々が入賞しました。

合唱コンクール

優勝 千寿会「帆柱起し音頭」 2位 てる義会「新ソーラン節」 3位 花久会「出船音頭」
入賞 孝也会「狭山茶作り音頭」 旭謡会「組曲お立ち酒」

埼玉県民謡の部

優勝 田島 義夫(孝也会) 2位 仲島 直広(州峰会) 3位 北邑 京子(旭謡会)
入賞 横山 春子(考也会) 長井 利男(旭謡会)

熟年の部

優勝 松本 トシ江(孝也会) 2位 岡崎 滋(州峰会) 3位 磯崎 久良(孝也会)
入賞 小川 よね(旭謡会) 山畑 旭昇(旭謡会)

成年の部

優勝 尾形 豊(孝也会) 2位 菅家 親和子(正晃会) 3位 三山 晃両(正晃会)
入賞 藤本 フジ子(旭謡会) 栗原 次子(孝也会)

審査員特別賞

阿部 杏菜(小6) 旭謡会 鶴ノ子会

(狭山市民謡協会 高沢 正夫)

----- さやま・文化の息吹 -----

あなたも俳人！

狭山市民謡協会 (今坂柳二)

俳句は庶民の文芸。他の文芸分野では扱われることの少ない、のみ・しらみ・ぼうふら・げじげじまで、季節の題として採用されている。雪月花のみでなく木陰や水溜りで、けんめいに生きる姿も美しい、とするのが俳句文芸だ。

五月雨の降りのこしてや光堂 松尾芭蕉
やせ蛙負けるな一茶これにあり 小林一茶

名句とされている右ばかりではない。以下だつてそう。

茶畑や水野は月の美しく 山崎菊水
あめんぼう水笑はせていたりけり 長谷川綾子

豪華な中尊寺の金色堂も一匹のやせ蛙も天上の月も水溜りに住む虫けらも、句の世界では拮抗し得る存在なのだ。この事が分かる人は、みんな立派な俳人だ。

市制と同時に結成した連盟の会員は一四 名ほど。市内にはこの倍に近い方々が俳句文芸に魅力を感じ、日々作句に励んでいると考えられている。それぞれが身近足下に美を見出し、ものの哀れを感じているからにちがいない。一つ、欲を言えば狭山の枠組みの中のみでなく、一步を踏み出す勇氣を持って欲しい。連帯と楽しみの中でそんな芽を育てるのも俳句連盟の努めだろう。

平成18年度 賛助会員の紹介(3)

(有) さやま典礼

狭山中央 4-6-8 : 2956-1525

小川 豊子

狭山笹井 470-3 : 2954-0213

(有) 田菊米穀店

たのしく、きぼうのあるくらし
日常生活の架け橋の一端になるよう皆様を応援し
邁進努力します お電話ください
狭山入間川 3-9-15 : 2952-2025

(有) ごとうフーズ

おにぎりの専門店(有)ごとうフーズ
狭山市下奥富 778 : 2952-2721